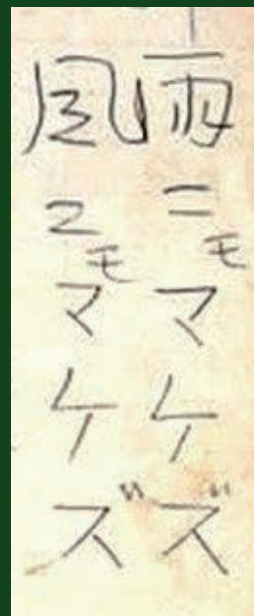


あひる会合唱団 2024 第58回定期演奏会

日時 2024年11月24日(日) 開演14:00

場所 水戸市民会館 グロービスホール



指揮 打越 孝裕
後藤 敦子
ピアノ 小林 由佳

〈演奏曲目〉

ルネサンス宗教音楽名曲集

- ・Salve Regina(J.des Prez)
- ・Sicut cervus(G.Palestrina)
- ・Agnus Dei(W.Byrd)
- ・Ave Maria(T.Victoria)

混声合唱のためのヒットメドレー
HANA (三沢治美 編曲)

- ・花 ・サボテンの花
- ・さくら(独唱)・ハナミズキ 他

混声合唱とピアノのための組曲

雨二モマケズ (千原英喜)

資料提供 林風舎

後援 チケット 茨城県・水戸市・水戸市教育委員会・茨城県合唱連盟・水戸市合唱連盟・朝日新聞水戸総局・茨城新聞社 (全席自由) 一般 1,000円 高校生・中学生 500円(学生証をお持ちください) 小学生以下 無料 親子室の利用可

前売り チケット予約サイト <https://www.mito-hall.jp/ticket/>
販売開始 9/1(日)10:00~ 11/23(土)20:00 当日券有り ※団員からもお求めいただけます。

問い合わせ 水戸市民会館 TEL: 029-350-6060 (平日 9:00~20:00・土日祝 9:00~17:00)

その他 車椅子をご利用の方は、3日前までに水戸市民会館にお申し込みください。





あひる会合唱団は、1951年に「水戸市民合唱団」として創立し、1953年に「あひる会合唱団」に名称を変更いたしました。今年で創立74年目になる県内有数の老舗の合唱団です。

2023年3月には、新型コロナウイルス感染拡大のため3年間延期になっていた念願の70周年記念演奏会を水戸芸術館で無事に開催しました。そしてさらなる飛躍をめざし、この度第58回定期演奏会を開催します。

指揮者



打越 孝裕

(うちこし たかひろ)

武蔵野音楽大学音楽学部音楽教育学科
(声楽専攻)卒業

「水戸の街に響け! 300人の《第九》」
の指揮者
茨城県合唱連盟理事長



後藤 敦子

(ごとう あつこ)

上野学園大学音楽学部声楽科卒業
現在ヴォイストレーナーとしても指導にあたっている

ピアノ



小林 由佳

(こばやし ゆか)

東京音楽大学ピアノ演奏家コース
首席卒業(同大学総代)、同大学研究科
修了
東京音楽大学講師

あひる会合唱団では、一緒に歌う仲間を募集しています!

練習日:

木曜日に月2回(18:30~21:00)

土曜日・日曜日・祝祭日に月3回(13:00~17:00)

練習場所: 水戸市内の市民センター

*詳細はホームページをご覧ください。

ホームページ

<http://ahirukai.com/>

連絡先:

団長 坏 登

携帯電話:

090-2464-2704

今回のメインステージに選んだ曲は千原英喜作曲の「混声合唱とピアノのための組曲 雨ニモマケズ」です。詩は皆さまよくご存知のとおり、昨年2023年9月21日に没後90年を迎えた宮沢賢治です。

このチラシに使わせていただいた賢治の写真は、大正14年ごろに当時勤務していた花巻農学校の実習田で、賢治が敬愛していたベートーヴェンを真似て歩いているところを撮ったものだそうです。

賢治は音楽に関わりのある作品もたくさん残していますし、自ら作った音楽劇の劇中歌の作詞作曲もしています。

この組曲における「告别」の中でも、音楽に深く関わりのある言葉が使われていますが、それらは世の中の価値観を問いつつ、賢治が想っている人としての生き方、命のあり方を表現しています。

そして「野の師父」では、理想に生きようとする賢治の姿が描かれています。

表題作の「雨ニモマケズ」は、詩として発表されたものではなく、賢治が亡くなる約2年前の1931年11月に病床で手帳に鉛筆書きされたもので、その手帳は賢治の遺品の大きな皮のトランクのポケットから発見されました。

「雨ニモマケズ」は賢治が病床で思っていたことを書き留めたものですが、その祈りのメッセージは今でも私たちの心に深く響きます。



「雨ニモマケズ」が書かれている賢治の手帳

資料提供: 林風舎

<https://www.e-haweb.com/home/rinpoosha/index.html>